

輝け！シン尾花沢中

つたえゆかしい 校章よ おおむつましく 丘かげに

「習慣」「考える力」大切に～米大リーグ・エンゼルス 菊池雄星さん～

昨年の12月29日の山形新聞に、米大リーグ・エンゼルスの菊池雄星投手の、「岩手だから、できる」と題した講演記事が掲載されました。

菊池投手は花巻東高校出身で、あの大谷翔平選手の先輩にあたります。日本では埼玉西武ライオンズのエースとして活躍し、大の読書家でもあります。

今回、この記事を読んで、改めて第一線で活躍される方から学ぶことの多さに気づき、切り抜いていました。

講演の要旨を次に紹介します。

- 何かを達成した人たちは笑われた時期や逆境があった。
- 自分で特別な才能があるとは思っていなかったのも、**やり続ける「習慣」とどうすれば勝てるかを「考える力」**を大切にしてきた。
- 好きなことを見つけるために**「いろいろな経験」と「人との出会い」**、「**本を読むこと**」が必要である。
- 中2のときに「プロ野球選手になって家族を楽にさせる」と母に宣言した後、次のように考え、努力を積み重ねてきた。



2025.12.29 山形新聞

- 友人と遊ぶ時間を犠牲にし、学校から帰ると毎日夜10時まで練習を続けた。
- 野球は少しずつうまくなるのではなく、コツをつかむといきなりうまくなる。**練習はうまくなるコツをつかむために行う。**100回練習するよりも1000回練習したほうがチャンスは多くなる。
- (花巻東の)監督から「雄星は注目される立場になる。だから誰よりも嫌なことを続けなさい」と言われ、3年間トイレ掃除をやった。
- プロの選手になれる確率は数%かもしれないが、**可能性は自分の信じる限り100%ある。**
- 結果を出せば未来が変わる。苦しかった過去も「あの経験があったからだ」と肯定できる。結果を出すのはつらいが、**何事もやり続ける姿勢は大事にしてほしい。**

現在、尾花沢中は、23日(金)に英単語の学カクラスマッチに向け、生徒全員が英単語を覚えるために努力しています。

努力を積み重ねることを厭わない。そして、何かを成し遂げるために努力することが習慣化されていく。そんな尾中生であってほしいと願っています。

【文責：校長 工藤雅史】